

木材資源の建築分野での有効利活用に関するシンポジウム

我が国の人工林は利用可能な林齢の森林面積が増加しており、伐採、植栽、保育のサイクルを円滑に循環させ、CO₂吸収源である森林資源の育成を図る必要がある。理想的な状況下では安定した木材量が供給され、その活用によって都市にCO₂が保存されるが、現状では需給量は減少し、さらに国内の林業生産活動も停滞しており、適切なサイクルが乱れている。木材の利用者側、つまり建築側から経済活動優先の考え方を改め、永続的な社会構築を広い視点から検討する必要がある、そのような視点から木質資源の有効利活用について議論することを目的とする。

主 催: 日本建築学会 木質バイオマス資源の循環と有効利活用特別研究委員会

後援予定: カナダ大使館、日本ツーバイフォー建築協会

日 時: 2011年11月18日 (金) 13:00 ~ 17:00

会 場: 建築会館ホール (東京都港区芝 5-26-20)

<プログラム>

【第一部】日加両国の建築分野での木材の利用の現状と課題

1. カナダの状況 (未定)
2. 日本の状況 (未定)

【第二部】国内の取り組み事例

- ①国内事情 (未定)
- ②長野の事例 浅野良晴 (信州大学)
- ③国内の全体像 小林謙介 (東京理科大学)
- ④先進的な取り組み事例 中村裕幸 (株式会社DCMC)

【第三部】全体討論 司会: 五十田博 (信州大学)

定 員: 150名

参加費: 会員5,000円 会員外7,000円 後援団体6,000円 学生2,000円 (当日払い、資料代含)

申込方法: 催物名称、参加費種別、会員番号、氏名、勤務先・所属、電話番号、E-mailアドレスを明記のうえE-mailでお申し込みください。

定員に達した場合は、お断りの方のみご連絡します。

申込問合せ: 日本建築学会事務局 研究事業グループ 浜田 (E-mail: hamada@aij.or.jp)